

# 小中事務って どんな仕事??



茨城県職員採用試験説明会

つくばみらい市立谷和原中学校 小林 由季

# 小中事務とは・・・

市町村にある公立の小中学校に  
在中する唯一の行政職です。

基本は1校につき1名  
規模によっては1～3名程度が  
勤務しています。



# 1日のスケジュール

8 : 0 0	出勤
8 : 1 0	始業（書類等の確認）
1 0 : 3 0	休憩タイム
1 0 : 4 0	業務再開
1 2 : 4 0	昼食および休憩
1 3 : 2 0	業務再開
1 5 : 3 0	清掃（職員室内）
1 6 : 4 0	終業



※仕事の進み具合で残業する時もあります

# 主な仕事内容

## 給与

先生方のお給料に関して、諸手当や法定外控除（給料から保険料等を差し引きすること）の報告書を作成します。

また諸手当として

- ・扶養手当
- ・児童手当
- ・住居手当
- ・通勤手当

などの認定手続きをおこないます。

# このような様式を使ってお給料の報告をします。(例)

こちらはお給料から必要経費を差し引きするための書類です。

令和 2 年 3 月 その他控除金報告書

控除の種類	控除額	記入欄
国民年金		
厚生年金		
健康保険		
雇用保険		
住宅ローン控除		
借入金		

別表第36 (第39条の7関係)

住居カード  
 条例第11条の5第1項口第1号  
 口第2号

勤務公署	勤続年数	氏名	職員番号
	...	...	...

住宅の所在地	住宅への入居日	住宅の契約面積
住宅の種類 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> 借間 <input type="checkbox"/> まかない付下宿	年 月 日	m <sup>2</sup>
住宅の所有者 続柄 ( ) 住所 ( )		
住宅の貸主 続柄 ( ) 住所 ( )		
住宅の名義上の借主 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 扶養親族 氏名 ( ) <input type="checkbox"/> 共同名義人がいない 氏名 ( )		
契約年月日		
契約期間		
家賃等		
電気ガス又は水道料金を		
雑費等を		
届出年月日		
届出理由		
事実発生日		
受理(確認)年月日		
支給の始期		
支給額		
確認決定・実効		

こちらは住居手当の書類です。アパート等の家賃を支払っている住居に住んでいる場合に使用します。

# 旅費の請求



旅費とは？

先生方が出張した際に必要となった交通費および宿泊費等のこと。

距離数や運賃を計算して算出します。

- 1 k mあたり 2 8 円（ガソリン代）
- 公共交通機関利用の場合は路程に応じた金額

# このような様式を使って旅費の報告をします。(出張者用)

< 表 >

出張			
校長	教頭	事務担当	区分
文書発行者			■普通 □児童引継
旅行年月日	令和 2 年 7 月 13 日 ( 月 ) から 令和 年 月 日 ( ) まで 泊 日		
会議予定時刻	9 時 30 分 ~ 16 時 40 分		
目的地及び用務先	教育研修センター ( 笠間市平町 )		
着 泊 先			
用 務	○研究会		
旅費列送の有無	■無 □有		
利用交通機関	自家用車 高速道路利用 ■有 ○○10から☆☆10まで 52 km		
公署発着直行道標	直行道標		
職 氏 名	教諭 谷和原 太郎 命		

校長	教頭	事務担当
つばあらい市立谷和原中学校長 殿		
出 張 復 命 書		
職 氏 名 教諭 谷和原 太郎 命		
旅行年月日	令和 2 年 7 月 13 日 ( 月 ) から 令和 年 月 日 ( ) まで 泊 日	
目的地及び用務先	教育研修センター ( 笠間市平町 )	
着 泊 先		
用 務	○研究会	
上記の命令のとおり出張してきましたので、次のとおり復命します。		
記		

会議時刻	時 分 出 発 時刻	時 分 到 達 時刻	時 分 まで
旅行開始			
公署到着直行道標	口公署発着	口直行	口直行直帰
実費距離	往復 km ( 往路 km ・ 復路 km )		
公署発着距離	往復 191.9 km ( 往路 65.9 km ・ 復路 65.9 km )		
旅費列送の有無	□無 □有	別紙支給簿	
実費の有無	□無 □有	実費額	円 (内訳 )
			円 (内訳 )
			円 (内訳 )

備考 (1) 復命書は、出張したのも遅やかに記入し、提出してください。  
 (2) 出張旅費からの旅費 日当・借金などの支給については、※にその金額を記入してください。  
 (3) 実費がある場合は、金額を記入し、領収書等を提出してください。  
 ① 旅費領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ② 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ③ 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ④ 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ⑤ 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ⑥ 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ⑦ 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ⑧ 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ⑨ 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。  
 ⑩ 領収書(領収書)に記入した数字・金額等を記入すること。

< 裏 >

第9条関係)

### 自家用車による公務出張承認申請書

令和 2 年 7 月 13 日

い市立谷和原中学校長 殿

学校名 つばあらい市立谷和原中学校  
職 氏 名 教諭 谷和原 太郎 命

この公務利用に関する取扱要項第3条第1項ただし書の規定により次の自家用車による公務出張です。

出張内容等 (具体的に記入のこと)

令和 2 年 7 月 13 日 ( 月 ) から  
令和 年 月 日 ( ) まで 泊 日

教育研修センター ( 笠間市平町 )

自宅 → → 教育研修センター  
教育研修センター → → 自宅  
○研究会

表に利用しようとする自家用車の「自家用車等の記録簿」の記録番号 29

基準 (第3条)	該当の有無	資格要件 (第4条)	充足の有無
車の利用及び長距離運送が困難な場合、かつ、当該自家用車の運転に必要な運転免許等を所持している者であること。	有・無	(1) 当該自家用車の運転に必要な運転免許等を所持している者であること。	有・無
地に至るまでの交通機関利用が困難かつ不便で、当該交通機関を利用し、かつ、当該自家用車を運転して行く者であること。	有・無	(2) 運転免許証の交付を受けてから原則として1年以上経過し、かつ、かつ、当該自家用車を運転している者であること。	有・無
地が運送距離にわたるかつ、かつ、当該自家用車を運転して行く者であること。	有・無	(3) 過去1年間に、自己の過失による交通事故を起こしていない者又は、当該事故により刑事処分もしくは公安委員会の行政処分を受けてから1年以上経過している者であること。	有・無
条件及び道路状況等が当該自家用車の運転に支障があること。	有・無	(4) 心身の状態で、健全であり、かつ、当該自家用車の運転に安全運転が確保できると認められる者であること。	有・無
及び生活に支障を及ぼさないこと。	有・無	(5) 自動車損害賠償責任法による責任保険又は責任共済の契約が締結されている自家用車を公用に利用しようとする者であること。	有・無

注 校長は、該当・充足の有無のいずれか一方を○で囲むこと。

## < 出張伺い・復命書 >

こちらは旅費を請求するために先生方に記入していただく書類になります。

私たちはこの書類に基づいて旅費請求書を作成します。

出張に行くための手順

①校長先生に出張伺(上記および裏面部分を記入)を提出

②出張終了後、出張復命書(下記部分を記入)を提出

※領収書等の証明書がある場合は一緒に添付する。





他にも . . .

諸会計手続き

電話・来客対応

物品購入

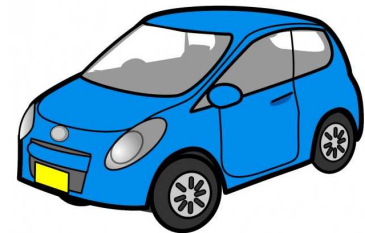
文書整理

などなど

# 学校外部での業務(出張)

学校内だけではなく，学校外での仕事もあり，そのための出張は多種多様です。自分達が作成した書類の相互審査会や見聞を広げるための事務職員研修，その研修の裏方としての業務などがあります。

採用されるとまず初めに「新規採用事務職員研修」というものがあるよ！



# 出張の様子はこんな感じです！

## つくばみらい市共同実施の様子



## 事務職員研修会の様子

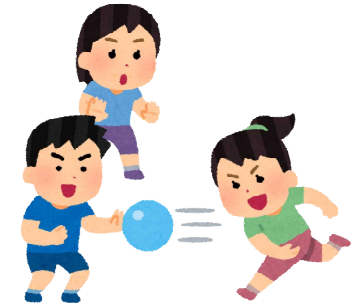


月に3回程度開催されます。給与関係、旅費関係の書類に誤りがないかの審査をおこなっております。

# 児童・生徒との関わり

基本は授業にでたりすることはありません。(教員免許がないため)

しかし，休み時間に一緒に遊んだり，各種学校行事などで関わる機会は多くあります。



# 最後に・・・

この職種は人との関わりで成り立っています。先生，他校の事務職員，児童および生徒，保護者それぞれの立場に立って物事を考える柔軟な対応が求められます。

学校に1人しかいないということで，大きな不安があると思います。私もその1人でした。しかし他校の事務職員の方が丁寧に仕事を教えて下さり，先生方からは社会人としての心得を教えていただくなど，たくさんの方に支えられここまで勤めることができました。

不安なことや辛いことは1人で抱え込まず，すぐに相談してください。

いつの日か皆さんと一緒に仕事が  
できることを楽しみにしています。